



令和6年度 CN/GX関連イベント集

近畿経済産業局
資源エネルギー環境部

金融機関向けセミナー 脱炭素支援施策 説明会

【共催】近畿財務局・近畿経済産業局・近畿地方環境事務所

2024
5/10
(金)
13:30-15:15

金融機関向けセミナー
脱炭素支援施策説明会

オンライン開催
(Webex)

- 2050年カーボンニュートラル達成に向けて、あらゆる地域や分野で脱炭素に向けた取組が進められていますが、特に企業活動における脱炭素の取組の推進には、本業支援の一環として、金融機関による知見や適切なアドバイスが不可欠です。
- 本セミナーでは、近畿財務局が令和5年度に管内金融機関に対して実施した、脱炭素への取組に関する実態調査結果の還元や、サステナブルファイナンスに係る金融庁の取組、脱炭素に向けた関係省庁における最新の支援施策を紹介し、
- 取引先事業家の脱炭素支援に向けた役立ち情報となりますので、奮ってご参加ください。

プログラム

13:30-13:35 主催挨拶	近畿財務局 理財部長 鈴木 康博
13:35-13:50 近畿管内の脱炭素に向けた取組に関する実態調査 ～令和5年度金融機関アンケートの結果報告～	近畿財務局 理財部 金融総務課 課長 永山 幸司
13:50-14:15 サステナブルファイナンスに係る金融庁の取組	金融庁 総合政策局 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室 課長 堀内 中実 副課長 中野 裕士
14:15-14:45 地域金融機関と共に進める脱炭素に向けた取組と中小企業支援施策	近畿経済産業局 産業エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室 室長 堀内 幸司 副室長 藤田 力
14:45-15:15 地域脱炭素推進に向けた金融機関の役割	近畿地方環境事務所 地域環境推進グループ 地域脱炭素推進室長 堀内 幸司

申込方法

右側のQRコードからお申し込みください。
当日、お申し込みいただいたメールアドレス宛に
参加URLをお送りいたします。

【お問い合わせ】近畿財務局 理財部 金融総務課
TEL: 06-6949-6521
Email: kinki-kinchou@kikk.ftb-mof.go.jp

2024年
5月2日(木)
締切

<https://forms.office.com/r/mndR33W4X3>

脱炭素に向けた関係省庁における
最新の支援施策を紹介

イベント概要

日時:令和6年5月10日(金) 13:30 ~ 15:15

- ・会場:オンライン
- ・共催:近畿財務局・近畿経済産業局・近畿地方環境事務所
- ・テーマ:各種脱炭素施策について
- ・登壇者:近畿財務局

金融庁
近畿経済産業局
近畿地方環境事務所

イベント結果



参加者の声

補助金や税制等、各省庁での取組が分かりやすくまとめられており、非常に有益でした。

参加者の声

企業を取り巻く環境は大きく変化しており、それを支える地域金融機関の役割は重要だと再認識しました。

企業活動における脱炭素の取組の推進には、本業支援の一環として、金融機関による知見や適切なアドバイスが不可欠です。

本セミナーでは、近畿財務局が令和5年度に管内金融機関に対して実施した脱炭素への取組に関する実態調査結果の紹介やサステナブルファイナンスに係る金融庁の取組、脱炭素に向けた関係省庁における最新の支援施策についてご紹介しました。

経済産業省・環境省の施策一覧

カーボンニュートラル支援策

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/g/SME/pamphlet/pamphlet2022fy01.pdf

特徴
経済産業省、環境省、両方の施策をCN対策のステップごとにまとめています

カーボンニュートラル支援策QRコード

中小企業等向け施策紹介(リンク)
https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/sme/pamphlet/pamphlet2022fy01.pdf

家電 リサイクル プラント 見学会



家電リサイクルの現場を体感し、
リサイクルの重要性を再認識する

イベント概要

日時:令和6年10月4日(金)14:00~16:30

形式:リアル

会場:関西リサイクルシステムズ株式会社 本社工場
(家電リサイクルプラント)

テーマ:家電リサイクルプラント見学、リサイクル制度の説明

協力:環境省 近畿地方環境事務所

奈良県電器商業組合

家電メーカー

イベント結果

家電リサイクルプラント見学前には半分近くの参加者が「高い」と感じていたリサイクル料金について、見学会後には「適正」「安い」と回答した方が97%にもなりました。参加者からは、リサイクルの重要性を実感したとの感想が多数寄せられました。

参加者の声

リサイクルの勉強、学ぶことがありよかったです。これからも、生活の中でのいろんな物のリサイクルに努めたいです。



参加者の声

きめ細かいリサイクルになっているとは思いませんでした。なかなか人力だよりが多くびっくりしました。



RETHINK DESIGN フォーラム

～サーキュラーエコノミー

とどう向き合うか～



サーキュラーエコノミーを実現する
ビジネスモデルを探る

イベント概要

日時：令和6年10月30日(水)13:30～17:00

形式：ハイブリッド開催

プログラム：

○話題提供

近畿経済産業局 環境・資源循環経済課

○先進事業者による事例紹介

アイフォースリー合同会社、甲子化学工業株式会社、日榮新化株式会社、株式会社アシックス、パナソニック株式会社

○トークセッション

○ネットワーキング、名刺交換会

イベント結果

イベントにはオンラインを含めて96名に参加いただきました。サーキュラーエコノミーをテーマとしたセミナーの開催は初めてでしたが、セミナー後のアンケート結果では「大変良かった」「良かった」が9割を超えました。特に事例紹介について「参考になった」「新しい発想・発見があった」という意見が多くありました。

参加者の声

- ・ 多様な分野の事例についてディープに知ることができた。
- ・ 特にサプライチェーン上流側のサーキュラーの取り組みを知ることができた。
- ・ 町工場、大手企業、グローバル企業の視点や価値観の違いが感じられる内容だった。



当局ではサーキュラーエコノミー実現に向けて「Rethink Design」が鍵になるとみて普及を進めています。

ポイントは、(1)価値の転換(Rethink)、(2)価値を循環させる手段(循環型ビジネスモデル)、(3)価値を高める工夫とそれに伴う企業への付加価値(Design)、の3点です。

イベント当日は、①何を価値として「Rethink」した(価値の再定義)、②価値の再定義によって何を変えた(「何をDesignしたか」)

に関して、あらかじめ用意した仮説をもとにお話を深め合っていました。



トークセッションの様子

「攻めのGX」 促進に向けた 2DAYS講座



11/7 (木) 申込中

GXってビジネスチャンス？
「攻めのGX」促進に向けた2DAYS講座
～支援機関と企業が一体となって新たなビジネスチャンスをつかもう～

カーボンニュートラル実現に向けた社会の変化も、自社の事業成長のチャンスととらえて脱炭素分野で新事業を展開する「攻めのGX」の実践方法を伝えます。

2024/11/11(月)、11/12(火) 両日13:30～16:30

◆場所：オプテージ本社（大阪市中央区城見2丁目1番5号）
◆参加費：無料
◆対象：支援機関・金融機関等と企業のグループ（先着15組程度を想定）

講座の特徴

DAY1	DAY2	支援機関等	企業
2日間でインプットセミナーとワークショップを実施	支援機関等と企業がペアで参加	企業を取り巻く環境の変化 脱炭素化の背景や動向 企業の取組等基礎知識 GX人材育成の重要性 GX新規ビジネスに関連する知識、支援手法等	

※ 原則2名以上（支援機関1名、中小・中小企業3名）での参加に限定。
※ 「支援機関等」とは、中小・中小企業等の事業・経営相談、新規事業開発等の相談に対応する公的支援機関、金融機関、自治体、民間事業者等。
※ 参加費はフォローアップとリンク（取組の進捗状況の確認、アンケート、支援機関インタビューの提供、好事例）についてはHPへの掲載、費）に含めたい場合も対応します。

● 申込み：以下ページ内より支援機関等に該当する方がお申し込みをお願いします。（11/7）
https://www.kansai.meti.go.jp/7-14/energy/smart_energy_initiative/press/241004/rv_semege.html

＜問い合わせ＞
近畿経済産業局 脱炭素エネルギー推進部
カーボンニュートラル推進室
TEL：06-6966-6055
MAIL：bz-kin-smaene@meti.go.jp

近畿経済産業局 スキルアップ NeXt
主催：近畿経済産業局、株式会社スキルアップNeXt

脱炭素分野で新事業を展開する
方法を学ぶ講座です。

イベント概要

- ・日時：令和6年11月10日(月)～11月11日(火)
13:30～16:30
- ・会場：オプテージ本社(京橋オフィス)内会議室
(大阪市中央区城見2丁目1番5号 オプテージビル)
- ・対象：支援機関・金融機関等と企業のグループ
- ・講師
DAY1:スキルアップNeXt代表取締役 田原真一 氏
DAY2:株式会社オプテージ ビジネスコンサルティング部
シニアマネジャー 石橋 和幸 氏

イベント結果

終了後のアンケートでは、ほとんどの出席者が「大満足」「満足」と回答。「自分の会社の分析をする機会になった」「GXについて理解を深めることができ、ワークを通して何を今後していけないといけなかが考えることができた」といった声が寄せられました。また、講座参加後に、ペアで参加した支援機関が企業をフォローアップし、GX支援につながっている事例もあり、両者の連携を強める場となりました。



ビジネスチャンスとして脱炭素分野で新事業を展開する「攻めのGX」の方法を学ぶ講座を開催しました。

本講座は、学びを実践につなげる可能性を高めるために、支援機関等と企業がペアで参加する伴走支援形式を採用しました。それにより、支援機関等が、企業の取組を効果的に支援し、地域における「攻めのGX」の実践普及を目指しています。



第3回 関西水素産業 交流ラウンジ



水素産業の今を知り未来につながる
関係者と出会う交流イベント

イベント概要

日時:令和6年11月14日(木)13:30~16:30

形式:ハイブリッド(リアル/オンライン)

会場:関西経済連合会 294・295会議室

テーマ:取組事業の紹介・今後の課題・ニーズ発表等

登壇企業:岩谷産業株式会社 関西電力株式会社

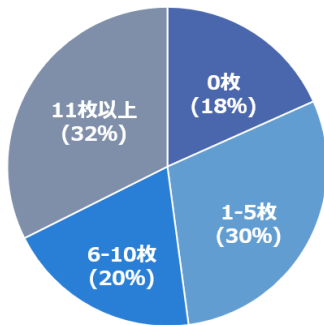
三菱重工業株式会社 株式会社堀場製作所

住友電気工業株式会社

イベント結果

イベント終了後、中小機構「J-GoodTech(ジェグテック)」にて登壇企業からのニーズを掲載。登壇3社に対して40件の提案があり、商談の申込は7件(令和7年3月時点)。

名刺交換実績(出口調査の結果)



0枚	1-5枚	6-10枚	11枚以上
13	21	14	23

※11枚以上
名刺交換し
た参加者が
23人で割合
が最も高
かった

関西経済連合会・中小企業基盤整備機構と共催することで、水素産業において、今後サプライチェーンを構築していく大企業がビジネスパートナーとしての中小企業から、技術提案を募集する場を提供した。また、展示等を行い、水素に関する最新情報を発信した。



交流会の様子

水素産業への参入促進のため、講演プログラムの後に交流・名刺交換の時間を30分間設け、関係者間の情報交換の時間を提供。商談のきっかけづくりを行った。

自治体向けサー キュラーエコノ ミーセミナー ～循環都市(サーキュラー シティ)への道筋～



サーキュラーエコノミー実現に向け
た自治体の役割を探る

イベント概要

日時:令和6年11月25日(月)13:30～15:20

形式:現地開催

プログラム:

○イントロダクション

「サーキュラーエコノミーと自治体の役割」

Circular Economy Hub編集長(ハーチ(株)運営)／

サークルデザイン(株) 代表取締役 那須 清和 氏

○先進自治体による事例紹介

埼玉県、和歌山県、蒲郡市、亀岡市

○トークセッション

○先進自治体とのワークショップ

イベント結果

イベントには29名に参加いただきました。

自治体職員を対象にしたサーキュラーエコノミーのセミナーの開催は初めてでしたが、セミナー後のアンケート結果では「大変良かった」「良かった」が9割を超え、今後も実施を希望する声を多数いただきました。

参加者の声

- ・各自治体の動向を一度に知ることができたので貴重な機会でした。
- ・発表自治体と個々に意見交換できる交流時間が特に有意義でした。
- ・サーキュラーエコノミーについて理解が進み、庁内で進めていくために必要な課題などがわかった。



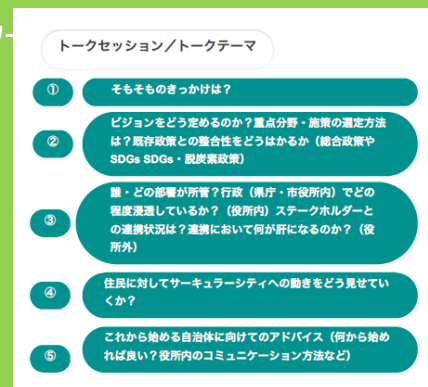
サーキュラーエコノミーの実現には、住民啓発や産業振興政策を担う自治体の取組が不可欠です。

自治体におけるサーキュラーエコノミーへの取組は欧州などで広がっていますが、日本の自治体の取組はまだまだ広がっておりません。

そこで、取組方法のヒントをお届けし、サーキュラーエコノミーの輪を広げていきたいという想いから、本セミナーでは、先進自治体による取組紹介や海外事例の紹介、トークセッション等を行いました。

また、知識をインプットするだけでなく、実践を見据えたアウトプットの機会として先進自治体を囲

んだワ



トークセッションの様子

J-クレジット トオムニバ スセミナー DAY2

イベント概要

日時：令和6年12月19日(木)14:00～15:40

形式：オンライン配信

テーマ：J-クレジットの創出・活用事例について

登壇者：経済産業省GXグループGX推進企画室

十山株式会社

SAGA COLLECTIVE共同組合

滋賀県 CO2ネットゼロ推進課

TOPPANエッジ株式会社

関東経済産業局と連携し、二日間のオムニバスセミナーを実施しました。DAY1では政策や制度動向を中心に、DAY2では実際の創出・活用事例を中心に紹介しました。この二日間を通じて、制度に関する基礎から実用的な内容まで網羅的に学べるコンテンツにしました。

イベント結果

当日は205名の方が聴講されました。関東局との連携で開催したことから、近畿局管内だけではなく全国からの参加がありました。イベント実施後にアンケートを実施しところ、セミナー全体への満足度は概ね高く、クレジットの創出・活用について理解を深める良い機会を提供しました。

関東経産局×近畿経産局
J-クレジット オムニバスセミナー

DAY1 政策・制度動向編 ハイブリッドセミナー
DAY2 創出・活用実践編 オンラインセミナー

*DAY1はMicrosoft Teamsによるオンライン配信でもご参加いただけます。
*DAY2はオンラインのみの実施となりますのでご注意ください。

無料開催

J-クレジット制度は、「省エネルギー設備の導入」「再生可能エネルギーの導入」及び「適切な森林管理」等の取組による、温室効果ガスの排出削減や吸収量を「クレジット」として国が認証し、他の事業者へ売却できる仕組みです。本セミナーでは制度概要、動向、活用事例を紹介します。是非ご参加下さい。

DAY1 12月18日(水)
14:00-15:30
場所：東京コンベンションホール
東京都中央区京橋3-1-1 ガーデン5 F

登壇者
●環境省 環境経済課 市場メカニズム室
カーボンオフセットの最新動向
●山梨中央銀行地方創生推進部
TGC FES YAMANASHI 2023におけるカーボンオフセットの取組
●経済産業省 環境経済課
GXリーグ・排出量取引の現状と今後の見通し
●林野庁 森林整備部 森林利用課
森林由来J-クレジット制度について
●長野県庁
地域資源活用による森林系クレジットの販売について

DAY2 12月19日(木)
14:00-15:40
方式：オンライン配信 (Microsoft Teams)

登壇者
●経済産業省 GXグループ GX推進企画室
J-クレジット制度の概要及び最新の動向について
●十山株式会社 (創出事例)
高アスファルトカーボンクレジットの創出
●SAGA COLLECTIVE共同組合 (活用事例)
地域産業の特長可能性を高める異業種グループの取組み
●滋賀県 CO2ネットゼロ推進課 (創出事例)
びわ湖カーボンクレジット制度について
●TOPPAN エッジ株式会社 (活用事例)
森林吸収由来等を活用したカーボン・オフセット付き
通知物の取組み

制度概要	J-クレジット創出事例	J-クレジット活用事例
 経済産業省 GX推進企画室 高島 大樹氏 #J-クレジット制度 #カーボンクレジット 市場 #GXリーグ	 特産車海製紙グループ 十山株式会社 総務部部長 中屋 敏明氏 #J-クレジット創出 #森林吸収系 #天然林 #育成林	 滋賀県庁 CO2ネットゼロ推進課 坂口 知沙氏 #J-クレジット創出 #再エネ系 #省エネ系 #プログラム型
	 SAGA COLLECTIVE 協同組合 事務局長 山口 真知氏 #J-クレジット活用 #自然吸収由来 #地域内異業種間連携	 TOPPANエッジ株式会社 事業推進統括本部 課長 今井 尋氏 #J-クレジット活用 #森林吸収系 #被災地復興支援

登壇者一覧

J-クレジット ネットワーク ワーキング DAY

EVENT 近畿経済産業局主催
J-クレジット ネットワーキングDAY

プログラム

- 【第1部】14:00～ マッチング参加団体による紹介ピッチ
(各団体約3分×最大16団体程度、オンライン配信あり)
- 【第2部】15:15～ マッチング会
(15分×3ターム程度、※現地のみ)
- 【第3部】16:20～ 名刺交換等交流会 (※現地のみ)

マッチング対象者

- ✓ J-クレジットを販売したい自治体・企業・団体等
- ✓ J-クレジットを調達・活用したい企業・団体等
- ✓ J-クレジット創出・流通を支援する機関・団体等

2025.2.6(木) 14:00～
@QUINTBRIDGE
※JR大阪環状線「京橋駅」より徒歩約10分

近畿経済産業局
経済産業省
近畿経済産業局

登録企業・自治体名(五十音順)
TOPPANエッジ、TOWING、
あいおいニッセイ同和損害保険、愛知県、
伊丹市、京都地産コンサルティング、
クボタ、静岡経営コンサルティング、十山、
全旅、脱炭素化支援機構、東京ガス、
ネイチャーベースコンサルティング、
バイウィル、三重県、大和森林管理協会

クレジットの創出者と購入者の
出会いの場を提供

イベント概要

日時:令和7年2月6日(木)14:00～17:10

形式:第一部のみハイブリット配信

第二部、第三部は対面

会場:QUINTBRIDGE

テーマ:J-クレジットの創出者と購入者のマッチング

プログラム:第一部 マッチング参加団体による紹介ピッチ

第二部 マッチング会

第三部 名刺交換交流会

イベント結果

参加者は、マッチング参加者が16団体29名、
現地聴講者が48名、オンライン視聴者は71名
の計148名でした。アンケート結果では、第一部
のピッチ、第二部以降のマッチング会ともに概
ね高い評価を得ました。

参加者の声

マッチング会や名刺交換会があることで、第一部では聞けなかった企業の取り組みや考え方を聞くことができ非常に参考になりました。



J-クレジットの創出者と需要者、及び両者を支援する機関の繋がりを作ることで、J-クレジットの流通促進だけでなく普及に向けた機運を醸成することを目的に、創出者・需要者・支援機関によるピッチとマッチングのイベントを実施しました。



第一部 紹介ピッチの様子



第三部 名刺交換会の様子

GX CROSS ROAD 2025

イベント概要

日時:令和7年2月13日(木)14:00~17:00

形式:対面

会場:近畿経済産業局 第二別館 三階

テーマ:近畿管内の金融機関と省エネ支援機関の交流促進

プログラム:省エネ支援機関によるピッチ

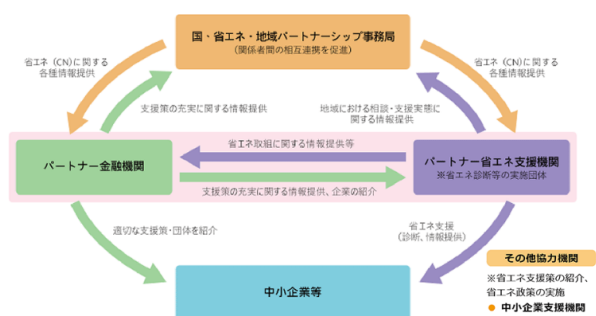
ネットワーキングタイム

測定機器体験

省エネおじさんカード体験会

中小企業等の省エネを面的に支援すべく、資源エネルギー庁が省エネ・地域パートナーシップという枠組みを立ち上げました。近畿局ではこの面的な支援をさらに強化するために、地域の金融機関と省エネ支援機関が交流できるイベントを開催しました。

省エネ・地域パートナーシップのイメージ図



イベント結果

当日は省エネ支援機関が12機関25名、金融機関が24機関44名、地方自治体等4機関7名の計40機関76名の方が参加いただきました。イベント内で「省エネおじさんカード」もお披露目し、読売テレビやテレビ大阪など複数のメディアに取り上げられました。

参加者の声

引き続き、省エネ支援機関と金融機関がコミュニケーションを取れる機会を提供して欲しい。



地域における面的な省エネ支援体制の構築を目指し、地域の金融機関と省エネ支援機関の連携を促す場を提供

日独水素 シンポジウム 2025 大阪



日独の水素ビジネスの最新動向を学び、国際的なネットワークを構築できるイベント

イベント概要

日時: 令和7年2月17日(月)13:30~16:00

会場: JETRO大阪本部 セミナールーム

(大阪国際ビルディング29階)

登壇者:

近畿経済産業局、ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)、ザクセン州経済振興公社、パナソニックホールディングス株式会社、ティッセンクルップ・ニューセラ株式会社、株式会社山本電機製作所

イベント結果

産官学等あらゆる水素関連産業の関係者50名に参加いただきました。

ドイツ連邦政府関係者や各州政府関係者の講演だけでなく、直接交流できる機会を設けることで、今後のビジネスチャンスや共同研究の可能性を探る機会を提供することができました。

参加者の声

欧州、ドイツの最新情報をドイツの関係者から直接聞くことができて良かった。今後も頻繁に海外動向が把握できるセミナーを開催して欲しい。

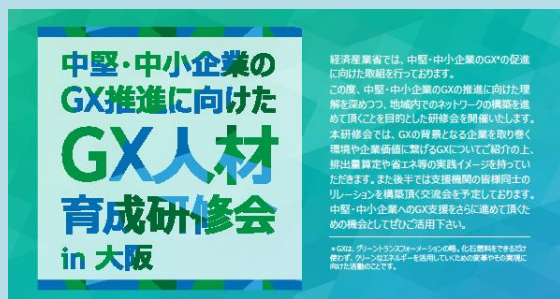


水素産業を通じて、関西とドイツにおける将来的なビジネス連携を進めることを目的に、両国のプロジェクトや水素関連企業の取り組みを学ぶシンポジウムを開催しました。

講演では、日本とドイツの政策や、ドイツでビジネスを進めている企業の取組を紹介しました。ネットワーキングおよび名刺交換会では、ドイツ関係者と対面で交流することができ、大盛況でした。



中堅・中小企業の GX推進に向けた GX人材育成研修会 IN 大阪



日時 2025.2.18(火) 13:30~17:00

場所 TKPガーデンシティ大阪梅田 パンケット3A
(大阪府大阪市福島区福島5-4-21)

参加費 無料

対象 府内の中堅・中小企業のGXを支援する支援機関様

申込方法 2.14(金)17:00までに
下記URLまたはQRコードより必要項目をご入力ください
<https://forms.gle/hr3yqsdhWvld5y56>

講演内容 ※詳細は要綱をご参照ください

項目	登壇者
開会挨拶	経済産業省、大阪府
経営×カーボンニュートラル～支援の第一歩をどう踏み出すか？～	中小企業基盤整備機構 近畿本部
中小企業GX支援のポイントについて	一般社団法人 環境エネルギー事業協会
(休憩)	
経営としてのGX GXの取組を新たな企業価値に	ポストン・コンサルティンググループ 合同会社
政府・自治体の施策紹介	経済産業省、近畿地方 環境事務所、大阪府
第2部研修会 交流会	

【主催】経済産業省、近畿経済産業局、大阪府 【協力】近畿地方環境事務所、近畿財務局
お問い合わせ ポストン・コンサルティング・グループ 合同会社 ext-gx-kenshuukai@metti.go.jp
ご質問は、SME_GX@ecb.go.jpまでお問い合わせください

イベント概要

- ・日時:令和7年2月18日(火)13:30~17:00
- ・場所:TKPガーデンシティ大阪梅田パンケット3A
- ・対象:大阪府内の中堅・中小企業のGXを支援する支援機関、金融機関、地方自治体等

<講義>

- 「経営×カーボンニュートラル～支援の第一歩をどう踏み出すか?～」
中小企業基盤整備機構近畿本部 アドバイザー 小西 豊樹 氏
- 「中小企業のGX支援のポイントについて」
一般社団法人環境エネルギー事業協会 代表理事 植杉 昌敏 氏
- 「経営としてのGX GXの取組を新たな企業価値に」
ポストンコンサルティンググループ 石津 朝弘 氏

イベント結果

中堅・中小企業のGX支援にあたって、脱炭素経営の取組方や、エネルギー使用についての現場目線のアドバイス方法、脱炭素を価値化するための方法等を網羅的に学べたほか、グループワークを行うことで、地域の支援機関同士の繋がりができたといった声が多く聞かれました。より地域でのGXが進むよう実践的な活動に繋がっていただくと考えています。



本研修会では、GXの潮流や支援のポイント、企業価値向上に繋げるGXの取組についての講義に加え、登壇者や参加者との交流会を通じて、地域における効果的なGX支援の体制を構築するためのネットワーク作りを行いました。



参加者でのグループワークの様子

RETHINK DESIGN MEETUP

～関西からサーキュラー
エコノミーに挑む同志～



「関西からRethinkが当たり前になる
持続可能な社会」の実現へ

イベント概要

日時: 令和7年2月27日(木)13:00～16:30

形式: リアル開催

会場: グラングリーン大阪北館JAMBASE
(conference 7-2)

プログラム:

- 趣旨説明
- オリエンテーション・ワークの説明
- ワーク#1#2
- ホワイトボード貼付け
- 振り返り・総括
- 交流会

イベント結果

ワークショップ後には交流会を開催しました。
自身が手がける取組に関連する製品・サンプル
を紹介しながら、参加者同士が互いの取組や考
えについて理解を深める機会になりました。

参加者の声

・自らの取組について、他の業界か
らの見え方の違い、そして期待を知
ることができた。
・他社の取組の理解が進み、連携の
可能性を見いだせた。



サーキュラーエコノミーを推進するには、サステナ
ブル価値の作り手(Rethink Designer)同志のイ
ノベーションの創出や新しいライフスタイルを浸透さ
せていく動きが欠かせません。まもなく開催される未
来社会の実験場、大阪・関西万博。関西で叶えたい持
続可能な未来社会について、25名を超える管内を
中心とする事業者で活発に議論しました。



ワークの様子

「Rethinkが当たり前になる持続可能な社会」に
ついて、4つの領域に分かれ、メンバーを変えて2
回のワークを行い、アイデアを出し合いました。

しんきん 脱炭素経営 フォーラム

信用金庫取引先企業限定

脱炭素について
基礎的な知識を
習得する！

関西を代表する企業から
国内外の脱炭素
最新動向を学ぶ！

すぐ実践できる！
具体的な
取り組み方法を学ぶ！

最前線の事例から学ぶ、
脱炭素経営のヒント

2025.3.4 (火) 15:30~18:00

大阪府京橋NTT西日本
オープンイノベーション施設 QUINT BRIDGE
〒534-0024 大阪府大阪市東区東野田町4丁目15番2号

申込締切は2025.2.25(火)まで

申し込み先
信用金庫 大阪支店
TEL 06-6949-3538 受付時間: 月~金 9:00~17:00
大阪府 信用金庫 大阪支店 TEL 06-6210-9553 受付時間: 月~金 9:00~17:00

参加費 無料
定価150円

脱炭素について基礎的な知識や
国内外の最新動向等を提供

イベント概要

日時:①令和7年3月4日(火)15:30~18:00

②令和7年3月6日(木)14:00~17:00

形式:対面

会場:①QUINTBRIDGE

②PRISM

テーマ:①信用金庫の取引先企業に対し、脱炭素の基礎知識から
すぐ実践出来る具体的な省エネの取組を学んでもらう。

②信用金庫の職員に対し、ロープレ等を通じて顧客への
省エネ提案のスキルを身につけてもらう。

イベント結果

DAY1では省エネに熱心に取り組む中小企業
とのクロストークを通じて、生産性向上の取組が
結果として省エネになることを伝えました。

DAY2では信金の職員を対象に、省エネ診断や
省エネ補助金の概要やメリットなどを説明し、施
策に対する理解を深めました。



DAY1では関西を代表する大企業の講演
と、省エネに熱心に取り組む中小企業が登壇。
脱炭素の国際的な動向から身近な取組まで
の発表がありました。DAY2では信用金庫の
職員の方々を対象に、翌日から実践いただけ
るよう、経営者の方への省エネ提案を想定し
たロールプレイ等が実施されました。



「中堅・中小企業のGX 推進を支える面的支 援シンポジウム」

～取組事例から考える多様な

GX支援のアプローチ～

**中堅・中小企業のGX推進を支える
面的支援シンポジウム** 参加無料

～取組事例から考える多様なGX支援のアプローチ～

**2025年
3月7日(金)**
14:00～17:00
申込締切: 2025年3月5日(水) 12時迄

国民會館 大ホール
(大阪市中央区大手前2-1-2
地下鉄難波大塚ビル12階)

現地定員 **200名**
オンライン定員 **1000名**
(Teams)

◎近畿経済産業局は、中堅・中小企業のGXを効率的かつ効果的に促進するにあたり、支援機関等と連携した支援を「面的支援」と定義し、全国に先駆けて取組を進めています。なかでも支援機関、金融機関、地方自治体、工業団地、業界等との連携による体制づくりを含めたGX支援ノウハウを蓄積し、モデルとなり得る中堅・中小企業への支援プロジェクトの創出を目指しています。

◎今年度は新たにサプライチェーン全体での取組に重点を置きました。すでに近畿エリアの中堅企業が仕入れ先などと連携した取組を始め、支援を受けた中小企業ではGX推進だけでなく、経営面にも好影響がでている例もあります。

◎本シンポジウムでは、特に、支援機関、金融機関、サプライチェーンによるGX面的支援の先行取組事例から、それぞれの立場、地域の実情に合わせた多様な支援のあり方を考えます。本会への参加を通じ、中堅・中小企業のGX推進を支える皆さまの次の取組のきっかけやヒントとなれば幸いです。

主催: 近畿経済産業局 共催: 中小企業基盤整備機構近畿本部
後援: 近畿財務局、近畿地方環境事務所
協賛: 株式会社テクノバ / 株式会社タン計画研究所

経済産業省 近畿経済産業局   お申し込みはこちら
<https://gx-kinki.go.jp/tenu> 

問合せ先: 株式会社タン計画研究所 (06) 6944-7100 受付時間: 10:00～17:00 郵便: 〒564-0444 751-1010 gx-kinki.go.jp

中堅・中小企業の多様なGX支援に
ついて考えるシンポジウムです。

イベント概要

- ・日時: 令和7年3月7日(金)14:00～17:00
- ・会場: 国民會館 ※リアル会場に加え、オンライン併催
(大阪市中央区大手前2-1-2国民會館大阪城ビル12階)
- ・対象: GXに関心を持つ支援機関、地方自治体、
金融機関、企業等

■プログラム(抜粋)

「政府のGXに関する最新動向」(経済産業省)、「信用金庫にお
けるGX支援の取組について」(近畿地区信用金庫協会)、
「サプライチェーン全体でのGXの取組について」(ダイハツ工業
株式会社)ほか、支援機関等と連携した取組事例のご紹介等

イベント結果

当日は、現地・オンラインあわせて約150名と多
くの方に参加いただきました。

参加者の声として、「多様な主体による具体的な
支援事例や、支援策を知る事ができて参考にな
った」という意見が多くありました。

また、交流会(名刺交換)にて、今後のGX支援に
向けた参加者同士の繋がりが生まれていました。
今後も、地域の中堅・中小企業のGX推進に
むけて取り組んで行ければと思います。



本シンポジウムでは、政府の最新の政策動向
の紹介、大企業と中小企業のサプライチェー
ン上の協業事例や、中堅・中小企業のGXを
面的に後押しするプレイヤーの取組事例の発
表を通じて、それぞれの特性や強みを活かし
た多様なGX支援をご紹介しました。



第4回 関西水素産業 交流ラウンジ



水素産業の今を知り未来につながる
関係者と出会える交流イベント

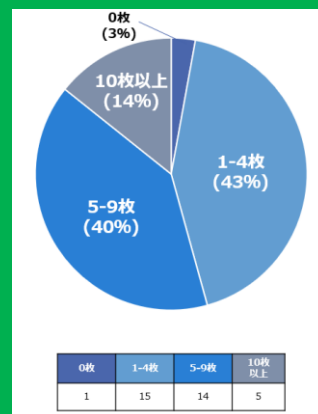
イベント概要

日時：令和7年3月12日(水)13:30～16:30
形式：ハイブリッド(リアル／オンライン)
会場：産総研・関経連うめきたサイト
テーマ：水素利活用企業の事例紹介、企業インタビュー等
登壇企業等：UCCジャパン株式会社、
株式会社H2 & DX社会研究所
トヨタ紡織株式会社
中小企業基盤整備機構
岩谷産業株式会社(オブザーバー登壇)

イベント結果

会場とオンラインで合計約120名の方が参加しました。
アンケートに回答した方のうち、84%の方が、「水素利
用のヒントが得られる内容でしたか？」の問いに対して、
「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」と回答した。

名刺交換実績(出口調査の結果)



会場参加者の97%
が名刺交換を行い、
水素利活用企業間の
交流があった。

水素利活用企業インタビューの様子

事前に参加者に頂いた質問に、登壇企業＋水素
供給企業の岩谷産業が回答。水素で自社製品に
付加価値を加えることなど、これから水素を利活
用する企業へのヒントを与える内容でした。



水素を使ったGX製品の展示

水素焙煎コーヒー、水素燃料電池自転車などを体
感できるブースを会場内に設けました。



～ 万博から飛躍する次世代燃料の展望 ～

加えて、燃料資源に関わるベンチャー企業2社(株式会社Eプラス、株式会社ベホマル)より、自社の取組などをご紹介いただき、最後に会場名刺交換会を実施いたしました。



07

GXによる未来社会の体験

地球の未来と生物多様性ウィーク

9.17 > 9.26

※開演日

EXPO
2025

水素・アンモニア発電による電力供給、ペロブスカイト太陽電池、CO₂回収・固定技術など、カーボンニュートラル実現に資するGX技術を先行的に実装。

水素・アンモニア発電による電力供給

水素発電の燃料としてアンモニアを発生させ、水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：関西電力・中部電力

CO₂回収・固定による電力供給

CO₂を回収して水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：民間企業等

ペロブスカイト太陽電池の活用

ペロブスカイト太陽電池は、従来のシリコン太陽電池に比べて、製造コストが低く、柔軟性があり、建築物の屋根や窓などに設置できる。ペロブスカイト太陽電池は、従来のシリコン太陽電池に比べて、製造コストが低く、柔軟性があり、建築物の屋根や窓などに設置できる。

※実装主体：旭化成工業株式会社

CO₂分離・回収の実証

CO₂を分離・回収し、水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：旭化成工業株式会社

合成燃料の活用実証

CO₂を回収して水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：民間企業等

水素・アンモニア発電による電力供給

水素発電の燃料としてアンモニアを発生させ、水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：関西電力・中部電力

CO₂回収・固定による電力供給

CO₂を回収して水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：民間企業等

ペロブスカイト太陽電池の活用

ペロブスカイト太陽電池は、従来のシリコン太陽電池に比べて、製造コストが低く、柔軟性があり、建築物の屋根や窓などに設置できる。ペロブスカイト太陽電池は、従来のシリコン太陽電池に比べて、製造コストが低く、柔軟性があり、建築物の屋根や窓などに設置できる。

※実装主体：旭化成工業株式会社

CO₂分離・回収の実証

CO₂を分離・回収し、水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：旭化成工業株式会社

合成燃料の活用実証

CO₂を回収して水素を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。水素発電と水素燃料電池の両方で電力を発生させる。

※実装主体：民間企業等

イベント概要

協会、株式会社Eプラス、株式会社ベホマル

イベント結果

会場名刺交換会の様子

